

2026年8月3日
商工中金

ペンチやニッパー等の作業工具を製造する株式会社マルト長谷川工作所に 対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の新潟支店は、株式会社マルト長谷川工作所（本社：新潟県三条市、代表者：長谷川 直哉）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億5,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、ペンチやニッパー等の作業工具を製造しています。鍛造から機械加工、熱処理、研磨までの一貫生産体制を構築し、産業・工作用工具のほか、ネイル・医美容向け製品も展開しています。

今回同社は、中小企業版 SBT 認証に基づく CO2 排出量の削減や働きやすい職場環境整備の取り組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取り組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社マルト長谷川工作所の概要】

所在地	新潟県三条市土場 16-1
代表者	長谷川 直哉
資本金	1,000 万円
従業員数	133 名（2026 年 7 月時点）
設立	1943 年 5 月
業種	作業工具製造業



【同社製品】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

